

第 4 1 回那須塩原市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和 7 (2025) 年 7 月 7 日 (月) 午後 6 時 3 2 分～ 8 時 3 8 分

2 場 所 西那須野庁舎 3 0 1 ～ 3 0 3 会議室

3 議 題

- (1)第 2 期子ども・子育て未来プランの令和 6 年度実績評価について
- (2)「第 3 期子ども・子育て未来プラン-那須塩原市こども計画-」最終年度(令和 11 年度) 目標値について
- (3)家庭的保育事業等の事業者変更に係る認可について

4 その他

令和 7 (2025) 年度子育て相談課概要について
今後のスケジュールについて

5 出席者 委員： 1 4 名、事務局： 1 4 名、計 2 8 名

【委員】

君島委員、大谷委員、赤澤委員、廻谷委員、田中委員、秋間委員、森（久）委員、永井委員、磯委員、村上委員、西田委員、石崎委員、浅香委員、越沼委員

【事務局】

(子ども未来部) 松本部長
(子育て支援課) 福田課長、瀧補佐、高野係長、磯主査、平山主査、齋藤主事
(子育て相談課) 菊地課長、青木補佐、戸室係長
(保育課) 北村課長、田中補佐、鎌田係長、小林主査

発言者	内 容 (要旨)
事務局	1 開会 第 4 1 回那須塩原市子ども・子育て会議を開会する。
事務局	2 委嘱状交付 代表者 1 名 (越沼委員) へ松本部長より委嘱状を交付。
事務局	3 あいさつ 子ども未来部長より挨拶
事務局	4 自己紹介 委員⇒事務局の順に自己紹介
事務局	5 会長及び副会長の選任 事務局案として会長に浅香委員、副会長に西田委員を提案。決定。
会長	6 議題 (1)第 2 期子ども・子育て未来プランの令和 6 年度実績評価について
事務局	資料 2 及び資料 3 に誤りがあったため、正誤表により説明。

	資料1及び資料2により説明。 事前の質問No.2, 3, 5, 6に対し所属から回答 (資料4のとおり)
会長	質問・意見等はあるか。
委員	土曜保育の実施を断られているということを把握していないってことなんです、ぜひ把握して、その結果、現状をつまびらかにしていただきたい。 また、休日保育についての周知方法については今後検討したいとあるので、具体的にどのようにしていくかを、もし次回以降でいいので回答いただきたい。 次に病児病後児保育について、利用料を教えてください。
事務局	利用1回につき、市民2,000円、市内勤務者3,000円
委員	利用のニーズについて把握する必要があると思う。次回以降に回答をいただきたい。 次に、乳児家庭全戸訪問事業について、出生数と訪問件数の差は里帰り出産とのことだが、それが100%とはいきれないと思うので、そうでない方が漏れないようにお願いしたい。
	議題(2)「第3期子ども・子育て未来プラン-那須塩原市こども計画-」最終年度(令和11年度)目標値について
事務局	資料3により説明。 事前の質問No.1, 4, 7~12に対し所属から回答 (資料4のとおり)
会長	質問・意見等はあるか。
会長	放課後児童クラブの1人あたりの面積について基準である1.65㎡を満たしているとの回答であったが、実際の現場ではどうか？
委員	生活の場所としてちょっと手狭感があるのは正直なところ。ただ、面積を大きくすると受入人数を減らすことになってしまう。
委員	学校では部活動が地域移行になってきており、今まで放課後部活動をしていた児童が学童を利用するようになってきている。
委員	地域福祉の分野では、平日の居場所はまだまだない状況。休日はこども食堂の数はここ3、4年で大分増えてきているので、そういった場所が増えるよう引続き支援していきたい。
委員	児童クラブを見学した際に、この広さで大丈夫かな？と感じた。保護者は預かってもらえればという意見が強く、こどもが居心地がいい居場所なのかというのをすごく考えさせられた。今後、地域の1人の支援者として関わっていければと思っている。

委員	保育園の年長になると、学童どうする？という話題は必ずでて、希望した学童に入れないという話も聞く。過密状態があるのか環境によるストレスを受けているという話も聞いている。
会長	ありがとうございます。学童を利用できているからいいではなくて、こどもがご安心してあるいは居場所として、地域として支援していけるようなそういう事業にぜひ整備して行っていただきたい。
	(3)家庭的保育事業等の事業者変更に係る認可について
事務局	資料5により説明
会長	質問・意見等はあるか。 特になし
会長	その他、各委員から何か質問・意見等はあるか。
委員	放課後児童健全育成事業のところの待機児童数ゼロについて、その分母は利用希望者ということでよいか。
事務局	分母は申込基準を満たしている希望者となる。
委員	その他委員からでた意見 <ul style="list-style-type: none"> ・休日保育について。できる限り受け入れているが、職員が疲弊してしまっている。受け入れ側の職員も子育て世代。休日保育をする保育園が市で増えてくれるといい。 ・市でこどもに対してこんなに多くの事業をしていることに驚き。出生数がR6年に600人を切っており、今後は心配。ここで子育てしたいと思う人が増えてほしい。そういった市にしてほしい。 ・今はこどもたちの安全安心を守り、自己肯定感を高めていくことに注力していきたい。 ・放課後児童クラブの床面積も含め、すぐには解決できない。こどもを一時的に落ち着かせる場所や面談場所なども同時に考えていかなければならない。
委員	おむつのサブスクリプションについて。保護者の立場の委員に意見を聞きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつを入れ忘れなどもよくあったので、そういったものがあれば負担は減る。 ・枚数が足りなかったこともあるので、保護者だけが楽になるのではなく、実施する園の負担がなければいいのではないかと思う。
委員	
事務局	県内の自治体の実施状況はどうか。

会長	県内であると3~4市町はあるかなと思う。使っても使わなくても定額を支払う。ラインナップを選べるかなども調査し、検討していきたい。
委員	検討した結果を文書で出してほしい。
事務局	資料3のNo.46発達支援システムについて、目標値の64%とは？
委員	すぐには出ないので、回答は次回とさせていただきたい。
事務局	No.48番の年長児巡回相談について、他市町の円に通っている児童もいると思うので、そういった児童への実施を継続してほしい。
	出向いたり、問診票などで把握するなど実施しているので、継続して実施していきたい。
事務局	7 その他 令和7(2025)年度子育て相談課概要について
	概要説明
事務局	今後のスケジュールについて
事務局	今年度はあと2回、10月と3月に会議を開催予定。 委員報酬と旅費について、報酬は1回あたり、7,400円、旅費は自家用車の場合、1kmあたり30円の支払いとなる。
事務局	その他として、6月30日に市内で発生したツキノワグマによる人身事故について、資料により説明。
事務局	8 閉会 以上で、第41回那須塩原市子ども・子育て会議を閉会する。
	以上